

おのがけりうをあきせく雛子の啼事れきよき
きみねへるけり萬葉集の歌よあきき雛子のつすこひ
とよみしと思ひ念せねへるまへー塙校本あき四ノ句
うらつくとあきものうらーとさう

おのをきとさうとあきくめく野ふもあきとさうひなく
解は不及詞も意をのうや鷹人を唯一よりと思ひ
まきゆーはねまよふあきかねこあき雛子のいと多く
鳴なればーよりあきまよふまよふれんとあきあきねへる
よりとま詞もあき念せむとく鷹もあきくあきよ進あき
けー詞もあきと念せとまあきー依くトにより數ともあき